

福祉サービス第三者評価結果報告書(公表用)

【受審事業所情報】

事業所名称	龍華保育園
運営法人名称	社会福祉法人 幸悠会
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長 木村 千彌子 園長 塚口 百合子
定員（利用人数）	120名 （ 133名 ）
事業所所在地	〒 581-0056 大阪府八尾市南太子堂2-1-31
電話番号	(072) 991 - 2286
FAX番号	(072) 991 - 2381
ホームページアドレス	http://www.sachiyukai.jp/ryuka/
電子メールアドレス	ryukahoikuen@lake.ocn.ne.jp

【評価機関情報】

【評価機関情報】

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター	
大阪府認証番号	270002	
評価実施期間	平成24年2月29日～平成24年6月20日	
評価結果決定年月日	平成24年6月20日	
評価調査者氏名（役割）	0901C002 運営管理委員	()
	0901C032 (専門職委員)	()
	()	()
	()	()

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する 事業所の同意の有無	☒ 有 ・ 無
-------------------------	--

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

社会福祉法人幸悠会 龍華保育園は、子育て世帯の多い地域に位置する家庭的な雰囲気
の保育園です。前年度には公立の民営化と園舎建替えに伴い、新しい組織体制の構築と保
護者との信頼関係づくりに全職員が一丸となって対応されました。「子どもの最善の利益
を考慮し、地域社会を含めた福祉の増進を積極的に推進する」という法人理念に則り、更
には「家庭的で子どもにやさしい保育園」をモットーに、一人ひとりの子どもたちに丁寧
に向き合う広く深い受容の精神のもと、地域福祉に貢献されている保育園です。

開園して2年目ということもあり、現段階では保護者とのコミュニケーションを確立す
ることを第一義として、園長、事務長、職員が一丸となって園運営に当たっていることが
うかがえます。保育の内容に関しても公立時代からのスタイルを積極的に取り入れ、子ど
もたちが違和感なく生活できるように配慮されています。特筆すべきは園長の保育に対す
る熱い気持ちが職員を牽引する原動力となっていることであり、園長は強いリーダーシ
ップのもと、職員の意見を吸い上げながら、保育サービスの質の向上に努めています。

特に評価の高い点

一人ひとりの子どもが主役となる安心した居場所作り

保育園としての枠組や年齢別保育に捉われず、様々な視点から個々の個性と可能性を引
き出すことを大切にされた個別支援計画や、年齢・個別の発達等を細やかに捉えた保育の計
画が策定されています。子どもを主体とし温もりのある保育を目指した組織作りは高評価
に値します。

改善を求められる点

実施状況の確認に向けた記録の整備

総合的には「記録」に関して改善が望まれます。必要資料の多くは問題無く確認できま
すが、記録の整理・分類の仕方や様式を固定化することで、見直しなどの作業面や改善点
の抽出に有効に活用できるかと思われます。

第三者評価に対する事業者のコメント

開園して2年目という状況なので、どうしても日常の保育や保護者対応に追われてしま
いがちでした。

そのような中で、客観的な立場からのアドバイス（今の段階から中・長期の計画の必要
性など）をいただき、園としての弱い部分や、課題を再認識できました。

評価を受けた内容につきましては、園内会議で課題や反省点を共有し、早急に話し合い
のうえ、着手できるものから取り組んでいます。

職員全員が子どもたちに関わっている姿勢の中で、今後も地域の社会的資源としての
「保育園」を目指していきます。

評価細目の第三者評価結果

児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a
評価機関コメント	
公立保育所からの民営化を受け、龍華保育園として新たに開設するにあたっては、理念や基本方針の保護者への周知、理解に向けて検討を重ねられました。また、職員のみならず利用者に向けても施設の方向性を明確に発信し、公立から利用している保護者に向けた配慮もなされています。	
Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b
Ⅰ-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	b
Ⅰ-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	b
Ⅰ-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	c
評価機関コメント	
開園2年目と言うこともあり低い評価となっていますが、計画に関しては行政と一体となって計画されているため、精度の高いものとなっていると考えられます。実施面に関しては、予算規模等の具体的な数値が組み込まれていないのは今後の検討課題と言えます。事業計画の保護者への周知に関しては、今回文書が確認できなかったためC評価としています。口頭による説明をされていますので、今後は文書として記録されることが求められます。	

I - 3 管理者の責任とリーダーシップ

I - 3 - (1) 管理者の責任が明確にされている。

I - 3 - (1) - ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。

a

I - 3 - (1) - ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。

a

I - 3 - (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

I - 3 - (2) - ① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。

a

I - 3 - (2) - ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。

a

評価機関コメント

園長は新しい園の開設において、職員に対して高いリーダーシップを発揮していることがうかがえます。職員会議においても細かく設定し、意見を吸い上げて質の向上を図ると同時に、職員の働きやすい環境作りに努めています。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	b
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	a

評価機関コメント

開設後間もないこともあり、行政との連携も密に図られ、地域の福祉ニーズに合わせた園の方向性を位置づけていることがわかります。これを継続的に実施するためにも、把握された福祉ニーズの情報やデータについて、今後は文書化し管理していくことが望まれます。法人が主体となって福祉ニーズの情報共有をされていることは、同園の強みでもあると考えられますので、今後なお一層の強化が期待できます。

Ⅱ-2 人材の確保・養成		
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

評価機関コメント

全職員有資格者とし、看護師を常時配置するなど、人事面において特筆できる人員配置となっています。職員の研修にも積極的に取り組み、園全体で資質の向上に邁進している姿がうかがえます。自己評価をベースに、職員が積極的に研修に参加する意欲がヒアリング等でも確認できました。これも、園長が職員と保育士の資質について積極的に関わっているからと推察されます。また、実習生の受け入れを将来に繋げる人材育成と捉える考え方にも園長の保育士資質向上に関するアクティブな姿勢がみられます。

今後は、ボランティアの受け入れ体制や地域の福祉ニーズに基づく事業活動に関する文書の作成が望まれます。

Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。

Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
Ⅱ-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
Ⅱ-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

評価機関コメント

危機管理に対する意識が高く、ヒヤリハット事例の集積や安全点検などをこまめに行い、事故の発生要因の摘み取りに積極的に対応しています。危機対応面でも緊急時の備蓄品を3～4日分完備するなど、初期対応期間を把握した構成となっています。訓練についても既定路線のものだけでなく、抜き打ちの訓練を実施し、職員の危機管理、危機対応面に実効性のある取り組みをしています。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	b

評価機関コメント

開設後間もないとはいえ、地域との連携に関して自治会や民生委員と定期的な交流事業を通して非常に積極的に取り組んでいる姿勢がうかがわれます。在宅子育て支援も充実しており、園庭開放だけでなく保育体験など、他ではあまり見られない活動にも取り組まれています。また、地域の小中学校とも連携を深め、保育園を地域の社会資源として考える姿勢を明確にしています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b

評価機関コメント

いくつかの項目でb評価と判断しましたが、記録書類が作成されていない事が要因となっています。現実的には、公立園からの民営化で利用者との連携、意見収集、苦情処理とも非常に積極的に行われていることがうかがえます。子どもたちのプライバシーに関しても、子どもの人権擁護の観点からきちんと配慮され、職員全体がそのことに関して重要性を把握するよう取り組まれています。今後は苦情に対する検討について、保護者へのフィードバックの方法と内容を文書化し公表する仕組みの構築が望まれます。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	b
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	a
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

日頃から、自己評価ガイドラインに基く保育の振り返りが行われるとともに、第三者評価受審にあたっては、評価基準に基く自己評価を職員参画の基に進めました。日頃から園の良さや課題について職員間で話し合う場が設けられ、課題については改善策を策定し実行されていますが、今後はそれらを文書化し公表することが望まれます。個々の保育場面における標準的な実施方法として保育マニュアルが整備され、職員への周知が図られています。

子ども一人ひとりの発達等を細やかに捉えた保育の計画が策定され、記録も適切に行われています。記録管理に関する規程を整備するとともに、守秘義務の遵守について職員に周知しています。子どもの状況等に関する情報を会議や打ち合わせ等にて職員間で共有化しています。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a

Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
---	---

評価機関コメント

子育て支援センターを通じて園を紹介する資料を配布しています。入園にあたっては、しおりや説明会資料を用いた説明が丁寧に行われています。転園の際、アレルギーを持つ子どもについては、守秘義務を遵守した上で転園先への引継ぎを行っています。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
------------------------------------	---

Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

評価機関コメント

子ども一人ひとりのアセスメントが適切に行われ、園の定める様式に記録されており、定期的な見直しが行われています。

年間カリキュラムについては、年度途中において前期の反省及び後期の課題が話し合われています。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判 断 基 準 項 目		評価結果
A - 1 保育所保育の基本		
1 -(1) 養護と教育の一体的展開		
A - 1 -(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A - 1 -(1)-②	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A - 1 -(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A - 1 -(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A - 1 -(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	a
1 -(2)環境を通して行う保育		
A - 1 -(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A - 1 -(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A - 1 -(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A - 1 -(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかわれるような人的・物的環境が整備されている。	a
A - 1 -(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
1 -(3) 職員の資質向上		
A - 1 -(3)-①	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a

評価機関コメント

出来る限り手作りの玩具や身近な素材を利用した環境構成に積極的に取り組まれています。また、ダイナミックに遊ぶことができる広い園庭のほか、玄関ステップからつながる芝生の中庭が設けられており、子どもたちがお気に入りの遊具で遊ぶことの出来る空間となっています。

保育環境への人的・物的環境の整備についても、保育士のみならず、調理現場や看護師とも連携したチーム保育のもと精力的に取り組まれています。

A-2 子どもの生活と発達

2-(1) 生活と発達の連続性

A-2-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-②	障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

A-2-(2)-①	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-2-(2)-②	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている	a
A-2-(2)-④	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a

2-(3) 健康及び安全の実施体制

A-2-(3)-①	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-②	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a

評価機関コメント

入園前から丁寧なアセスメントを行い、家庭的な雰囲気を意識した援助計画を組み立て、個別配慮や環境整備に精力的に取り組んでいます。食育の観点においても、八尾市公立保育所献立を参考に導入されていますが、決してそれだけに留まらずアレンジメニューを提供したり、レシピに趣向を凝らしたり、クッキング保育を取り入れる等、アイデアに工夫されています。

A-3 保護者に対する支援

3-(1) 家庭との緊密な連携

A-3-(1)-①	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-②	家庭と子どもの保育が密接に連携した保護者支援を行っている。	a
A-3-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a

評価機関コメント

保育士・看護師・調理師がそれぞれの専門性を活かし、様々な視点と気付きを丁寧に出し合い計画を策定しています。園内のレシピ掲示等、子どもから大人まで興味・関心が湧くような内容に工夫されており、子どもの食生活について家庭と連携した取り組みに力を入れています。また、懇談会のほか、保育参加を実施しており、保護者に普段の保育の様子を体験してもらうなど、子どもの発達や育児について共通理解を図る機会を設けています。また、施設長も保護者に対して恒常的に挨拶や言葉掛けも進んで行い、コミュニケーションを心掛けています。

虐待に関しては、具体的な対応方法について職員に周知を図り、保育所内で防止と早期発見に向けた体制を整備しています。

A-4 子どもの発達・生活援助

4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

職務規定の中に、体罰はもとより、子どもへ対する言葉掛けにも優しく穏やかに接することをより細かく明記し、一貫して取り組む姿勢がうかがえます。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	龍華保育園を利用中の保護者
調査対象者数	110 世帯
調査方法	アンケート調査

利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

龍華保育園を現在利用している保護者110世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配布してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、47世帯から回答がありました。(回答率42.7%)

特に満足度の高い項目として、

「健康診断の結果について、園から伝えられていますか」

「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっていませんか」

「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか」

が90%を超える満足度、

「園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか」

「給食のメニューは、充実していますか」

「送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか」

「日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じたり、個別面接などを行ったりしていますか」

などが80%を超える満足度となっています。